

ふるさと

6

vol.230
2017

JA秋田ふるさととは、新たな期待を創造します。

【特集】

平成29年度LA紹介
みなさんのもとに
出向きます！



レシピ

今月は

アスパラガス



アスパラガスはヨーロッパでは紀元前から栽培され、江戸時代には觀賞用として渡来。大正時代から食用として多く栽培されるようになりました。キジカクシ科の多年草で、苗を植えてから3年目以降に出る若芽を収穫して食べます。収穫せずに残した芽が葉を茂らせ、春には根から若芽が次々と出てきます。

アスパラガスはカロテンやビタミンCを含む、栄養価の高い緑黄色野菜です。アスパラガスに含まれるアスパラギン酸は、新陳代謝を活性化して利尿作用や疲労回復に有効なアミノ酸で、スタミナ補強にも役立ちます。また、毛細血管を強化し高血圧を抑制するルチンも含まれています。



我が家自慢の
レシピを伝授！

【じゃが芋のピザ風ガレット】



レシピの紹介者

【平鹿地区】

伊藤 順子^{よりこ}さん

子どもたちに大人気！

ジャガイモの「カリッ」「サクッ」「ホクッ」とした食感が楽しいガレット。お孫さんから「また作って！」というリクエストがあるほど、伊藤家では定番メニューです。スライサーがご家庭にない場合は包丁で2～3ミリの厚さで輪切りにするか、5ミリ幅の細切りにしてしきつめるときれいに焼くことができます。切ったジャガイモは絶対に水洗いしないこと。成形する際の接着の役割を果たすデンプン質が溶け出してしまうそうです。トッピングはその時々季節の野菜を使うとアレンジの幅が広がります。大人の方向けに塩こしょうを利かせておつまみとして作るのも良し！忙しい時でも簡単に作ることができます。熱々のうちに召し上がれ♪



● 材料（4人前）

- | | |
|------------------------|--------------|
| ・ ジャガイモ 400g
(中4個) | ・ ベーコン 70g |
| ・ とろけるチーズ 150g | ・ パプリカ 1個 |
| ・ アスパラガス
(ゆでたもの) 5本 | ・ あさつき 適量 |
| | ・ 塩 少々 |
| | ・ オリーブオイル 少々 |

- ① ベーコンやアスパラガス、パプリカを3～5センチの長さに切り、あさつきを小口切りにして下ごしらえをする
- ② フライパンにオリーブオイルを軽く塗り、弱火で熱する
- ③ ジャガイモの皮をむいてスライサーで切り、1センチの厚さになるようにフライパンにしきつめ、火を中火にする
- ④ ③に焦げ目がつく前（3分が目安）に弱火にし、とろけるチーズをまんべんなくかける
- ⑤ チーズが溶けだした頃合に①の具材をのせていき、塩をふる。火を止め、フライパンにふたをして余熱であたためて完成！

CONTENTS

- 02 レシピ
- 03 もくじ/表紙紹介
- 04 **【特集】平成29年度LA紹介**
みなさんのもとに出向きます!
- 08 ニュース&トピックス
- 12 営農ワンポイントアドバイス
- 13 突撃! アグリリポート
- 14 農に生きる
- 16 みんなの福祉だより
- 17 健康情報
- 18 ふるさとサロン
- 20 バラエティコーナー
- 22 インフォメーション
- 24 ふるさとの民話
JAの概況



はたけはボクのおもちゃ箱!!

戸田 琥大郎くん (大雄・5月10日生まれ・5歳)

両親(父・裕哉さん 母・いずみさん)と祖父母の5人家族。農業機械が大好きで、トラクターのおもちゃで遊ぶのはもちろん、お父さんの運転するトラクターと一緒に乗り込んでお手伝いをします。田植えの時期には田植機にも乗ったよ! 畑で遊ぶのも大好き! 今日はハウスで栽培しているピーマンの収穫です。おじいちゃん、おばあちゃんと一緒に頑張るぞ!



①おじいちゃんにピーマンのもぎ取り方を教わるよ!

②上手にできるかな? よいしょ!

③お父さんと一緒にトラクターを運転! 楽しいな!

(撮影日 5月28日)



今年度みなさまの地域を担当させていただく LA を紹介します

横手支店



熊谷 英樹



小西 美和子



鎌田 光市

金沢支店



播磨 雅子



猿橋 司



大村田 悠貴



山中 早織



伊藤 香織



水上 豪人



藤谷 郁子

山内支店



中野 結穂



高橋 希

平鹿支店



新山 昭史



加藤 知美



佐藤 京子

「LA」って何？



LAは、「ライフアドバイザー」の略称で、共済の専門的な知識を持っている職員です。お客様のもとに一軒一軒伺い、訪問活動を通じてお客様のライフプランに沿った保障のご提案をさせていただいております。契約後もお変わりないか保障内容の確認や点検をさせていただき、お客様のお役に立てるよう「安心」と「満足」を届けています。



深澤 博幸



眞田 康平



佐々木 良博

平成29年度

LA紹介

雄物川支店



金田 優子



佐々木 貴恵子



古内 弘子



佐藤 里枝



佐藤 幸弥

増田支店



福田 導人



佐々木 浩樹

大雄支店



奥山 哲哉



柴田 美紀



中安 麻利子

十文字支店



吉川 知邑



黒澤 和哉



西村 勇也



菅原 圭子



土谷 薫

大森支店



成田 陽子



備前 志穂



越後 理人



上田 武



LAの他、みなさまの地域に「出向く」職員を紹介します！
次のページをご覧ください。

みなさんのもとに出向きます！

ＪＡ秋田ふるさとでは、昨年度から「営農専任指導員」と「金融渉外担当」を導入。

今年度は「融資渉外担当」を新設し、事業を展開しています。

「どんな活動をしているの？」という声に応え、「出向く」ＪＡ職員の活動の一部を紹介いたします。



小松 将 園芸課 営農専任指導員（園芸）

組合員のみなさんにお声掛けして圃場巡回をしています。何度も足を運んで生育経過を確認し、他地域の栽培の様子など情報提供をしています。何かお困りごとがありましたらいつでも対応いたしますのでお気軽にご連絡ください！



病虫害や生育障害など

お困りごとがありましたらお気軽に
営農専任指導員にご相談ください！



米穀課 営農専任指導員（稲作）

広域	090-2364-0289
金沢・横手地区	090-2364-0571
平鹿地区	090-2364-0590
雄物川・大雄地区	090-2364-0355
大雄・大森地区	090-2364-0768
十文字・増田地区	090-2364-0800



果樹課 営農専任指導員（果樹）

広域	090-2634-0847
----	---------------



園芸課 営農専任指導員（園芸）

広域	090-2364-0836
広域	090-2364-0538
広域	090-2364-0693
広域	090-2364-0460
横手地区	090-2364-0756
平鹿地区	090-2364-0560
十文字地区	090-2364-0863



キノコ、花き
キュウリ、トマト、スイカ、メロン、ピーマン、ナス
豆類、ネギ、小松菜、アスパラガス、ホウレンソウ、
食用菊、サトイモ、セリ、ミツバ、ミニカリフラワー、
キャベツ、アスパラ菜



農繁期だとなかなか窓口に行けないから助かるよ！



金融渉外担当



木村 里花 増田支店 金融渉外担当

金融渉外担当は各支店に1名ずつおります。その時々キャンペーンやお客様のニーズに合わせた貯金商品の情報提供を行っています。窓口でも待ち時間などを利用して、お客様に商品のご案内をさせていただいております。たくさんお話を聞かせてください！



融資渉外担当



村田 剛樹 融資推進課 横手・金沢地区融資渉外担当

融資推進課の3名が渉外担当として農業関係資金をメインに、支店や農業機械課、担い手支援室と連携して商品のご案内や融資のご相談を承っております。「頭は低く、足は軽く、心は熱く」を常に心掛け、どこでもうかがいますのでお気軽にご相談ください！



N ews & Topics ニュース&トピックス June 2017



今月の組合員のみなさんの活動やＪＡの行事を、写真と記事で振り返ります。



▲手植えによる田植え体験をした参加者（５月２７日）



▲圃場に交流実証田の看板を立てた



▲田植機の試乗体験で歓声を上げる参加者

パルシステム 秋田南部圏食と農推進協議会 地元生産者と田植え交流

パルシステム生活協同組合連合会や横手市、湯沢市、ＪＡこまちや当ＪＡなど１１団体で構成する「パルシステム・秋田南部圏食と農推進協議会」（井上善蔵会長＝ＪＡこまち組合長）は５月２７日と２８日の両日、「田植え・山菜摘みツアー」を行い、首都圏生協の組合員４３人が参加しました。このうち２７日には里見地区の圃場で手植えによる「あきたこまち」の田植えを体験。参加者は地元生産者やＪＡ職員からのサポートを受けながら挑戦していました。参加者の一人は「足をとられて大変だったが、楽しく田植えを体験できた」と感想を話していました。このほか、参加者は田植機の試乗体験や田植えの会場に隣接するアスパラガスの圃場で収穫体験を行いました。９月下旬には稲刈りツアーを実施する予定です。

西瓜部会栽培講習会 高品質スイカ収穫に向け トンネル栽培管理確認

西瓜部会は5月16日、雄物川地区と平鹿地区の部会員の圃場で栽培講習会を開き、部会員やJA担当者など計40人が参加しました。4月中旬の定植以降、天候に恵まれ活着が進み、生育は順調。県平鹿地域振興局農林部農業振興普及課の小松聡主任を講師に招き、生育状況や今後の管理のポイントを確認しました。トンネル移動式栽培におけるトンネルの移動管理や親ヅルの摘心、子ヅルの管理などについて確認しました。小松主任は「生育の調整期間となる今後は、根の養成を充実させることが重要」と指導。トンネル内の温度管理を徹底し、日中の高温で根の張りが不十分になるのを防ぐことや、夜間の低温にも注意を促しました。同部会では今年度、出荷量6727トン、販売額13億円を目指します。



▲強風のためトンネルを開けることはできなかったが、生育の進み具合を確認した



▲今後に向けた活発な意見交換がおこなわれた



▲圃場の様子を確認しながら栽培管理を学んだ



▲着果も良好。より成熟した果実を実らせるため、摘果の時期についても確認した

トマト部会栽培講習会 生育順調 高温期の管理を学ぶ

トマト部会は6月1日と2日の両日、管内の部会員の圃場で栽培講習会を開き、部会員やJA担当者など計50人が参加しました。うち、1日の講習会では、(株)サカタのタネ東日本支店仙台営業所の東太郎^{あづま}さんを講師に迎え、主力品種である「りんか409」の今後の管理について確認しました。春先の低気温で低温障害などが心配されましたが、生育は順調に推移。今後は気温が上昇するため、樹や土壌を見ながらかん水のタイミングを見極めることなど、部会員は高温期の管理や同品種の特性、防除についても理解を深めていました。傳野猛部会長は「出荷に向けてこれからも管理を頑張っていこう」と呼び掛けました。

ハウスキュウリ巡視会 収量向上へ 水分管理の徹底確認

きゅうり部会は5月23日、管内の圃場^ほで巡視会を開き、部会員やJA担当者など計20人が参加しました。(株)ときわ研究場東北営業部東北営業所の鈴木雅勝所長を講師に迎え、園芸メガ団地をはじめ管内11か所の圃場を巡視。部会員はハウス栽培における温湿度管理やかん水、整枝や追肥のタイミングなど今後の栽培のポイントについて学びました。

鈴木所長は「気温も上昇し、乾燥傾向なので、圃場の水分管理、ハウス内の湿度確保を適切に行ってほしい」と話しました。生育は順調に推移しており、6月中旬に出荷のピークを迎える見込みです。同部会は、今年度出荷量1010ト^ン、販売額2億8200万円を目指しています。



▲生育状況を確認する部会員とJA担当者



▲今後の栽培ポイントを学んだ



▲部会員はアスパラガス栽培で重要な立茎を熱心に学んだ



▲県平鹿地域振興局の担当者が茎の太さや本数を確認した

アスパラ^{りっけい}立茎講習会 時期や太さ、本数など 「立茎」の要点を確認

アスパラ部会は5月22日、管内の部会員の圃場^ほでアスパラガスの立茎講習会を開き、県担当者や部会員など15人が参加しました。春芽の収穫が進むにつれ、前年に貯蔵根に蓄えられた養分が減少し、夏の萌芽^{ほうが}や翌年の収穫量などにも影響を及ぼすことから、部会員は、新たに同化養分をつくるための「立茎」を学びました。県平鹿地域振興局農林部農業振興普及課の小松聡主任が定植年数による立茎の時期や太さ、本数の他に立茎を選ぶポイントなどを解説。病害虫の防除については「立茎開始直後から病害防除を実施することが重要。病斑が出る前に予防をしてもらいたい」と話しました。

そら豆部会巡視会 日照時間の確保と 追肥時期について確認

そら豆部会は5月17日、雄物川地区と平鹿地区の圃場で巡視会を開き、部会員や専任指導員など計16人が参加しました。4月上旬の定植後、日照時間に恵まれ、生育は順調。みかど協和(株)国内営業本部東日本支店の間瀬満係長を講師に招き、生育状況や今後の管理のポイントを確認しました。間瀬係長は「日照時間の確保が実の肥大につながる。誘引や土入れで株全体へ効率的に光合成を促し、追肥やかん水を確実にここない良品生育を」と説明しました。同部会の高橋和雄部会長は「生育が順調に進めば6月3週目には収穫期となる。高品質高収量を目指そう」と呼び掛けました。



▲今後の生育管理や防除方法について多くの質問があがった



▲現在の生育状況について確認した



▲廃油に水と苛性ソーダを混ぜ合わせた



▲牛乳パックに混ぜ合わせた材料を流し込み1か月間固めて完成する

女性部増田支部 食用廃油を有効活用 エコ石けん作り

女性部増田支部は5月10日、増田選果場でエコ石けん作りをおこない、部員19人が参加しました。同支部では各自で持ち寄った食用廃油を有効活用しようと毎年開催しています。食用廃油に水と苛性ソーダを加えて混ぜ合わせて作る石けんは、ガスこんろの油汚れや作業着の泥汚れなどに洗浄力を発揮します。部員は一斗缶で混ぜ合わせた材料を牛乳パックで作った型に流し込む作業を行いました。石けんは1カ月かけて固まり、完成する見込みです。参加した部員は「出来上がりが楽しみ」と笑顔で話していました。部員が作った石けんは、増田支店で毎年8月に開催する夏祭りのフリーマーケットにも出品する予定です。



ナス栽培の ポイントについて

【指導員】 園芸課 柿崎 慎悦

今回は5月末から6月上旬に定植された夏秋野菜の代表格「ナス」について栽培の要点をお知らせします。

【定植後の管理】

側枝が4〜5cmになった頃、3本仕立てか4本仕立てにします。3本仕立ては、種子と一番果の上下（または下2本）側枝2本を残し、それ以外のわき芽をつけ根から摘みとります。3本〜4本仕立て以降は放任とします。枝が伸び、葉が繁ってきた時に果実にも十分光が当たるようにビニール紐などで誘引しましょう。古い葉は摘葉し、混みすぎた枝は間引きします。追肥は、収穫開始頃に行い、10日〜14日間隔で行います。1回の追肥量は、10^{リットル}当たりチッソ成分で2kg程度とします。高温乾燥時は、土壌が乾き過ぎないように早朝か夕方のかん水を行います。秋遅くまでの収穫を狙い、更新剪定（切戻し）も効果的です。なお、更新剪定の時期は、7月下旬から8月初め頃までに行いましょう。

【主な病害虫と対策】

◆青枯病

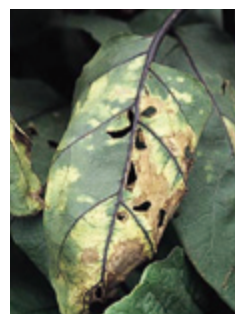
・**症状** 日中に萎れ、朝夕や曇雨天の日に回復することを繰り返します。次第に萎れが激しくなり、やがては萎れたまま枯死します。

・**対策** 連作を避け、発病圃場には最低5年間作付しないようにします。抵抗性台木による接ぎ木苗を利用することにより、被害を軽減することができます。

◆半身萎凋病

・**症状** 葉や株の片側半分だけに症状が現れる病気で、株元の近くの葉の葉脈と葉脈の間に黄色になり、徐々に茶色に変化します。日中、葉のふちが上方に軽く巻き上がる症状が初期症状です。放っておくと株全体に菌が広がり、枯死します。

・**対策** 青枯れ病に準じます。尚、薬剤による対策として、ベンレート水和剤による予防



▲半身萎凋病に侵されたナスの葉

◆アブラムシ類

・**症状** アブラムシの体長は1〜4mm程度で、おもに茎頂部付近の葉に寄生します。大量発生すると株の養分が吸われ成長が止まり、やがて枯死する場合もあります。高温・乾燥時に発生が多くなります。

・**対策** アブラムシを確認したらアブラムシに登録のある薬剤（モスピラン顆粒水溶剤など）で防除します。



▲ワタアブラムシ。他のウイルスを媒介する間接被害も

◆ハダニ類

・**症状** はじめは葉に針で突いたような白色斑点が見ら



▲ハダニ。葉裏に寄生する

れ、徐々に葉全体に広がり、葉が白っぽく見えるようになります。被害が進むと葉色が黄色から褐色になり、葉裏が蜘蛛の巣状になります。乾いた土をかけると葉裏に土が付着します。アブラムシと同様に高温・乾燥時に発生が多くなります。

・**対策** ダニを確認したらダニに登録のある薬剤（スターマイトフロアブルなど）で防除します。

今回紹介した薬剤は一例です。使用の際はラベルに記載されている使用上の注意をよく読み、用法を守って正しく使いましょう。ご相談は最寄りの営農センターへお問合わせください。

地元の高校生が行く！ 突撃！アグリリポート

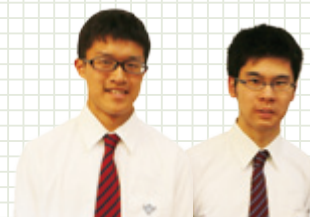


123時間目

今月のお題

山間地域の資源である山菜の 「食としての活かし方」を学ぼう！

地域づくりに積極的に
関わっていきたいです！



増田高校3年

関 雄大さん 古関 新さん



①②山菜づくしのワンプレートランチ。新しい食べ方を発見した ③ワークショップでは山菜の活用の仕方について学んだ ④石沢会長（右）と秋田県南NPOセンターの菅原賢一さん（右から4番目）と。会に参加し、とても有意義な時間を過ごすことができた

私たち増田高校野菜専攻班は、5月20日、道の駅さんないに隣接する杜のCafe SYANAさんで行われた「山菜を使ったごちそうを楽しもう」に参加しました。この会は、豊富な山菜資源を耕作放棄地の活用と高齢者世帯の生きがいに繋げようと立ち上げられた「トヨタ財団助成事業サンソンプロジェクト」の一環で行われたもので、26名が参加しました。前半は山菜を使った創作料理の試食をさせていただき、後半は今後の活動に向けてのワークショップを行いました。普段あまり山菜を食べない私達ですが、全部の料理を美味しく食べることができ、調理を担当したフードコーディネーター由利恵里子さんの技術と発想力の高さに感動しました。特に、「ホンナとシドケの春巻き」や「松風焼き」、そして「ウドのチョコブラウニー」は、高校生の私達にも山菜の苦みを魅力と感じられる組み合わせでした。また、秋田県林業研究研修センター環境経営部部長の須田邦裕さんからは、耕作放棄地での山菜栽培についてや山菜採りで注意点を教えていただきました。ワークショップでは、山菜のペーストなどを商品化するアイデアや山菜の栄養素や調理法に関する質問など、100以上の意見が出され、参加者の山菜への関心の高さと「山菜愛」を感じました。サンソンプロジェクト会長の石沢達雄さんは、「収入源となる産業が少ないために若者が地域を出て行ってしまう現状を何とかしたい。地元住民だけでなく他地域や若い世代の意見も多く取り入れて進めていきたい。高校生の意見は大変貴重だ」とおっしゃっていました。自分たちの意見が地域づくりに役立つことに驚くと共に、これからも積極的に関わっていきたいと感じました。この会に参加できて、本当によかったです。

農に生きる

明日を担う生産者たちの思いを探る



傳野 猛さん(55)

● 金沢

Takeshi Denno

生産品目： トマト ハウス 6 棟 (408 坪)
稲作 9.8ha
その他 60 a

「ト」
マトが赤くなると
医者が青くなる」
ということわざが

あるほど、身体に良い野菜として知られているトマト。当JA管内で生産されているのは「りんか409」や「桃太郎」などの大玉品種や、調理用トマトなど様々です。トマト部会の部会員は現在62人。ハウスと露地を合わせて約7・3ヘクタールで栽培しており、6月から11月まで出荷しています。

トマト栽培との出会い

農業短期大学を卒業後、農家の長男として「当然のように就農した」と話す傳野猛さん。就農当時、家では枝豆やアスパラガス、小菊を営農していました。トマトを始めたのは20年前。現在も所属する地元の消防団の先輩やJAの営農指導員から勧められたことが転機となり、園芸の品目をトマト一つに絞る決心

をしました。始めた当時は10アールでしたが、栽培を始めた2年後には栽培面積を増やして20アールに作付するようになりました。

「効率化」を模索する

猛さんは、効率良く作業を進められるように「セル苗定植」や「溶液土耕栽培」を導入しています。

「セル苗定植」とは、鉢植えをせず、すぐ畑に定植できるように仕切られた「セルトレイ」で育てた「セル苗」を定植する方法。ポットと比べて、セルトレイは少ないスペースで苗を作ることができ、用土が少なく済むなど、コストが削減できるメリットがあります。

また、「溶液土耕栽培」とは、土の良さを活かしながら、養液栽培の手法を取り入れた栽培方式で、液肥混入機を利用し、圃場に通した点滴チューブで必要な量だけ自動かん水と施肥をお

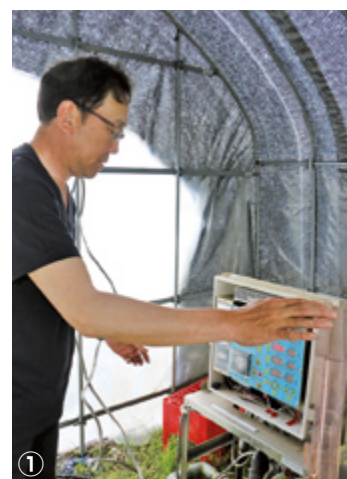


④

④三平印でおなじみのJA秋田ふるさと産のトマト。甘みと酸味のバランスが良く、県内や関東市場を中心に出荷され、夏と秋の産地として定評を得ている



③



①

①②液肥混入機を調整。黒い点滴チューブを圃場に通し、かん水と施肥を同時に行う
③朝夜に欠かさず生育状況を確認。苗は5月7日、8日に定植したもの。秋の収穫に向けて調整している。夏場が出荷のピークだが、猛さんは「秋のトマトも美味しいので食べてほしい」と話す

(撮影日5月24日)



②

こないます。そうすることで、生育がそろいやすく、収量も増加するという利点があります。「少ない労力で最大限の成果を上げる」——これが猛さんの営農におけるモットーです。

新たに学んだこと

昨年、トマト部会の部会長に就任した猛さん。「部会長になって改めて自分たちの生産したトマトがどのように流通や販売されているのかを知った。なかなかできない経験だった」と1年目を振り返ります。市場の声が直に聞けたことで「トマトの流れ」をより注視するようになり、栽培講習会への参加や他産地を訪問する機会も増えました。「出ていると毎回1つは引っかかることや気づきが出てくる。ヒントは落ちていると思うよ」と、猛さんは笑顔で話します。



▲栽培講習会で部会員と意見を交わす猛さん

何もない状態から育てる楽しさ
「何もないような小さいものから育てていく農業は楽しいよ!」と熱く語り掛ける猛さん。そして、「失敗もたくさんあるけれど、気楽に『なんとかなる』と思っている」と続けます。今後はいかにしてトマトの着果率を上げるかが課題。収穫期を楽しみに猛さんは管理作業に動んでいます。

みんなの 福祉だより

拡大版

JA 秋田ふるさとの介護福祉事業をご存知ですか？



ケアプラン
センター



訪問介護



訪問看護

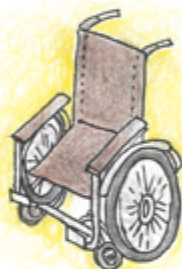


デイサービス



ショートステイ

用具レンタル販売



子育て支援



地域に密着した温もりあふれるサービスを提供しています。

福祉部では5月19日に同部の職員全員を対象にした
合同研修会を初めて開催し、55人が参加しました。



さらなるサービスの向上を目的に
福祉事業共通のテーマで
職員間の認識共有を図ります。

今後も接遇マナーや介護技術などの
研修会を開く予定です。

講師をつとめた
川越正利 福祉部長



第四回目の研修会では
コンプライアンスや
プライバシー保護を
学びました。

- 介護福祉事業に関するお問い合わせは
JA秋田ふるさと 福祉部 福祉課
0182-56-0292 まで

随時 ご相談見学
受け付けております！

健康情報

成人歯周病検診と 後期高齢者歯科検診

ノレーブ歯科クリニック（大森）
山野 浩樹



田植え作業もひと段落し、暑い季節に向かいつつあります。

さて、横手市内の歯科医院において、今年も7月1日から、40・50・60・70歳の横手市民を対象に「成人歯周病検診」が実施されます。

80歳になっても20本以上自分の歯を保とうという「8020運動」が推進され久しいですが、その達成者が増加傾向にあり、歯の大切さが定着されてきていることが実感できます。しかし、中高年の8割以上が歯周病にかかっているといわれていることも事実です。歯周病は糖尿病や動脈硬化など様々な病気と関わっていることが分かっています。最近の報告では、アルツハイマー病との関連性も指摘されています。

また今年から、75歳の市民を対象に「後期高齢者歯科検診」が始まります。こちらも期間は成人歯周病検診と同じです。成人歯周病検診の内容に加えて、歯の欠損状態や、入れ歯の状態、口腔粘膜の状態など、やや検診内容が多くなっています。

対象者の方にはご案内が後日送付される予定です。検診料はともに無料です。ご不明な点がございましたら、お近くの歯科医院にご相談ください。

自分のお口の状態を再確認する、またはお口の健康を守るためにもこの機会に成人歯周病検診、後期高齢者歯科検診の受診をおすすめします。

今回登場してくれたのは、増田、十文字、浅舞小学校のみなさんです。

ふるさと サロン

furusato salon
JAを支えてくれているみなさんのページ



▲長女の多恵ちゃん（4）と

▲次女の恵実ちゃん（3）
はパパの背中中でスヤスヤ

キラリ★

管内で農業や
JAの組織活動を楽しむ
若手をご紹介します。

【増田】 小松谷 里美さん（32）



地域を牽引する立場という意識で

ふたりの子どもの子育てと農業を両立させている里美さん。出身は秋田市で、結婚して6年になる夫の正樹さんとは大学の学科やサークルが一緒だったことが出会いのきっかけでした。結婚するまで農業の経験はほとんどありませんでしたが、正樹さんが農業を営むことに対しては「特別な抵抗は無かった。農業というものに無知だったからかな」と笑顔で話します。そんな里美さんは積極的に農業に携わっており、正樹さんを中心にリンゴやサクランボ、洋ナシなどの栽培を管理しています。栽培技術の基礎を学ぶ「りんごの学校」に入校し自らの知識や技術を高めることも欠かしません。「農業は楽しい」とやりがいを感じており、「子どもに尊敬してもらえるような親になりたい」と優しい眼差しで語ります。

「まめ」なひと

元気なお年寄りをご紹介します。

【十文字】 小松 勇一さん（81）



興味持ち、楽しく挑戦、何にでも

「新しいことに挑戦するのは楽しい。長生きするほど楽しみが増える」と好奇心旺盛な勇一さん。年金友の会の旅行やグラウンドゴルフなど地域の活動にも積極的に参加しています。数ある楽しみの中でも今一番力を入れているのが5年前から始めたという川柳。17音という短い形式に想いを載せる川柳の奥深い魅力に引き込まれ、「思いついたらすぐ書き留められるよう、紙とペンは常に持ち歩くようにしている」と語ります。川柳サークルに参加し、仲間と日々研鑽を重ね、当誌の「わたしの川柳」にも作品を寄せています。「川柳を共に楽しんでもくれる仲間が増えると嬉しいし、張り合いがある」と熱く語る勇一さんです。



みんなの作品展

読者投稿型企画



写真やイラストなどの作品を募集します！

- ◇期 間 2017年4月～2018年3月10日まで
- ◇規 定 応募作品は未発表のものとしします。写真は人物の肖像権など被写体に関する権利を尊重し、応募者の責任で了解を得てください。また、応募作品は今後の広報（掲載・紹介）で使用させていただく場合があります。なお、作品はお返しいたしませんのでご了承ください。いただいた個人情報につきましては本誌の編集以外には一切使用いたしません。
- ◇応 募 写真は2L以上の大きさのプリントまたは当JAホームページ（<http://www.akita-furusato.or.jp/>）からデジタルデータで応募ください。イラストはハガキでご応募ください。
- ①氏名（ペンネーム希望の場合はペンネームも記入）②年齢③郵便番号④住所⑤電話番号⑥撮影地と内容などを明記してください。
- ◇送り先 〒013-0036 横手市駅前町6-22
JA秋田ふるさと 総務課 広報担当



▲佐々木 稔さん（十文字）の圃場で採れた巨大紫アスパラガス 長さ33cm、直径3cmの太物です



スクール

管内の学校の食と農をご紹介します。

横手市立浅舞小学校
5年生45人のみなさん
校長：嶋田 浩一先生



秋の収穫を楽しみに田植えをしたよ！

浅舞小では5月30日、児童の保護者や地元農家、JA青年部平鹿支部とともに、小学校に隣接する圃場で昔ながらの手植えによる田植え体験を行いました。この日は天気に恵まれ、絶好の田植え日和。児童たちは素足で圃場に入り、初めての泥の感触に大歓声を上げます。ぬかるむ泥に悪戦苦闘するも、地元農家からのアドバイスを受けて、丁寧に苗を植えていきました。児童の一人は「最初は田んぼに足を入れるのが怖かったけど、田植えをしていくうちに楽しくなった」と感想を話していました。秋に美味しいお米が収穫できるといいね！



今月のテーマ：『祝』

わたしの川柳

● 今月の最優秀作品

六月に

わけてあげたい

祝日を

佐々木 幸一郎さん(大森)

● 優秀作品

さなぶりの

祝宴続く

村の夜

阿部 昭二さん(増田)

カラオケで

十八番が出たよ

祝船

P.N. 柴田悦香さん(十文字)

記念日に

祝杯挙げる

じいとばあ

笹嶋 久子さん(大森)

卒寿言う

還暦古稀は

まだ青葉

松野 利喜男さん(十文字)

楽しい川柳作品をお待ちしております。最優秀作品には、素敵な記念品を進呈！

【7月号のテーマ】「七」 【応募方法】 ハガキに川柳作品（パズルにご応募の方はその答えも）のほか、次頁下段の応募方法①～⑥をご記入の上、ご応募ください【応募先】〒013-0036 横手市駅前町6-22 総務課 広報担当【応募締切】6月26日(月)必着
＜作品をご応募いただく皆さまへ＞ 掲載された作品を横手かまくらFMにおいて毎月第4水曜日午後12時15分頃より(変更あり)ご紹介させていただいております。作品と投稿者名(地区は除く)をご紹介しますので、ペンネームでのご紹介をご希望の方は必ず記載してください

応募作品数…18作品

■なぜ六月にだけ祝日がないのでしょうか…着眼点の鋭さが素晴らしいです

おたより

●田植えも終わり、一面の田園風景がきれいだなあ！足腰痛いじいちゃんも頑張ってくれました。

／雄物川 A・Sさん(52)

代掻きが終わった田んぼにはキレイな青空が映り、田植え後は緑、収穫期には黄金、そして雪が降ると銀世界と四季を通して表情を変える田んぼは私たちの宝物ですね。

●子ども(2歳女兒)がディズニーランド(TDL)大好きです。私も小学校の時にJAの旅行でTDLに行った楽しい思い出があるので子供にも行かせたいと今から少しずつ貯金しています。0歳の子もいるので、ふたり分で大変ですが頑張ります！！

／雄物川 N・Fさん(31)

実は私も小学生の頃JAの旅行でTDLに行きました！いい思い出となったようで嬉

しいです。子どもにもいい思い出をと考える親の気持ちに感動しました。貯金頑張ってください！編集部一同全力で応援しています！

●今年は花見「桜」楽しみました。梨の木公園も素晴らしかった…何の花が好き？と聞かれたら桜と答えるでしょう…この年になって心から感じ日本の花そのものを強く思います。

／十文字 Y・Oさん(68)

こぼれ落ちそうなほどに満開の桜もいいですし、風に舞い上がり散りゆくのもまた美しいですね。日本に生まれて良かったと思える瞬間ですね。

●写真を撮るのが好きですが、いい風景と出合えた時に限ってカメラを持参してなくて残念に思うことがしばしばです。今はケイタイでも撮れるので撮影を楽しみにしております。いいのが出来たらお見せしたいです。

／横手 J・Sさん(69)

自分の目に映るこの瞬間の感情、感動を分かち合いたいと思うからシャッターを切るのだらうなと私は考えています。ぜひ感動を分け合いましょう！作品応募を心待ちにしています！

●今が旬のアスパラガスを食べました。おいしいですね。色も緑が鮮やかでいつでも食べたくなります。

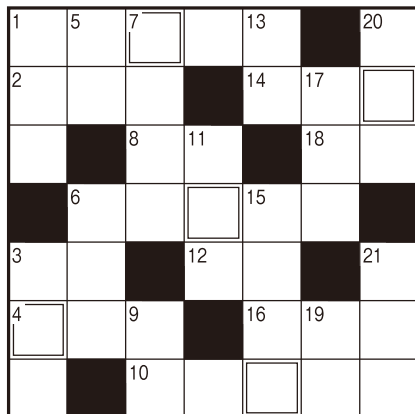
／十文字 S・Sさん(72)

旬のものを取り入れるのは栄養学的にも理にかなっているのだそうです。現在ほとんどの農産物は年中手に入るようになりましたが、季節を感じながら積極的に食べていきたいですね。

管内の風景写真や自慢の逸品、珍野菜などみなさんの「作品」を募集しています。ご応募は当JAホームページにある専用フォームからお寄せ下さい。(携帯からは、以下アドレスへ)掲載者には、素敵なプレゼントを差し上げます。メール【wg-koho@akita-furusato.or.jp】

クロスワードパズル ☆☆☆

カレーライスと相性抜群！



【解き方】全部の問題を解き二重枠の文字を並べ替えると一つの言葉ができます。それが答えです。

↓ タテのカギ

- 1 身を立てて故郷へ——を飾った
- 3 肩や腰が痛むときに貼ることも
- 5 傷や病気が治ること
- 6 「これが生命線で、これが運命線……」と見ていきます
- 7 ろくろ首やのっぺらぼうなど
- 9 梅雨どきには差す機会が増えます
- 11 漆で描いた文様に金粉などを付けて仕上げます
- 13 釣った魚を入れます
- 15 お酒よりもお菓子が好きな人
- 17 本当にあったこと
- 19 つるべで水をくみ上げます
- 20 1階建ての建物のこと
- 21 居酒屋や料理屋の入り口によく下げられています

→ ヨコのカギ

- 1 6月の第3——は父の日です
- 2 収穫物を——・優・良に仕分けした
- 3 梅干しの色付けにも使われる葉野菜
- 4 止まらずに行ってしまいました
- 6 近付くと雨が降りやすくなります
- 8 草を刈るときに使います
- 10 長崎の麺料理。ちゃんぽんと並ぶ名物です
- 12 願い事を書いて奉納する板
- 14 ナガス、マッコウ、ミンクといえ
- 16 お手洗い、ご不浄などともいいます
- 18 鬼が出るか——が出るか

ムーミンシTRASドット
レンジ2点セット
3名さまにプレゼント！

ムーミンのデザインが
かわいいセットです



●応募方法 ※川柳もこちら！

【応募方法】

ハガキに ①答え ②住所 ③氏名（当選発表時にペンネームが必要な方は別途記載してください） ④年齢 ⑤電話番号 ⑥当誌を受け取った場所 ⑦今月の好きな記事とその理由 または、当誌やJAへのご感想をご記入の上、下記までご応募ください。なお、お寄せ頂いたご意見は「お手紙」のコーナーにてご回答させて頂く場合がございます。（①～⑦の項目は必須となります）

【応募先】

〒013-0036横手市駅前町6-22 JA秋田ふるさと総務課・広報担当（※応募はホームページからでもOK。トップページの「みなさんの声と作品をお寄せ下さい！」バナーをクリック！）

【締 切】

6月26日(月)当日消印有効



■5月号の答え／マーガレット

■5月号の当選者／

佐々木文子さん

孫5人のババさん

佐藤チヅ子さん

■応募総数／45通

■正解者数／45通

ＪＡグループ秋田 農機具購入助成事業のお知らせ

規模拡大により農業所得の向上を目指す農業者へ農機具購入費用の一部を助成します。

助成内容／農機具購入代金(税抜)の20%以内
(上限100万円)

申請期間／平成29年6月1日～6月30日

対象者／5年以内に経営面積を1割以上増加させる計画のある農業者

対象物件／米、野菜、花き、果樹、畜産の生産拡大に供する農機具

留意点／・助成決定通知受領後(10月予定)に購入契約を締結し、3月末までに支払いが完了するもの
・事前着工は認められません
・予算に限りがあるため要望に応えられない場合があります

詳しくは各営農センターに配置しております。募集要項をご覧ください

【お問い合わせ】各営農センター、農業機械課、担い手支援室、融資推進課

「秋野菜の作り方講習会」を開催します

地域の皆さんが対象の「ＪＡふれあいセミナー」では安全で安心な農産物の地産地消運動を通じ、直売に結びつくような元気な農業を応援するための講習会を開催します。

【開催日】平成29年7月18日(火)

【場所・時間】①横手支店 9:30～11:30
②十文字支店 13:30～15:30

【内容】秋野菜全般の上手な作り方

【講師】(有)高橋種苗園 細谷 潔氏
参加申込は7月11日(火)まで

【お申込・お問い合わせ】各営農センターまで



ミスあきたこまち募集のお知らせ



ＪＡ全農あきたでは、秋田米のＰＲを担う平成29年度「ミスあきたこまち」を募集します。あなたの笑顔で「秋田米」を応援してみませんか？

応募締切／6月30日(金)当日必着

募集人員／7名

賞品／①正賞 ブロンズ像
②副賞 (1)ハワイ往復相当旅行券
(2)H29年産あきたこまち20kg

【詳細】全農あきたのホームページ
<http://www.ak.zennoh.or.jp/>

【お問い合わせ】ＪＡ全農あきた米穀販売課
電話番号/018-845-8040

秋田県からのお知らせ

クマに注意!!

クマが出没する恐れがあります! 県のホームページで目撃情報を確認してください。

山菜・キノコ採りや登山、レジャーなど山や野外で活動するとき、クマによる被害を防止するには、クマと出合わない、クマを引き寄せない方法を心がけることがとても重要です!

クマ被害の防止方法

- 山や野外での活動では、あらかじめクマの出没情報を確認して、必ず2人以上で行動し、単独行動は慎みましょう。
- 鈴や笛、ラジオなどを身につけ、周りに音を出しながら行動しましょう。
- 子グマを見かけても、そばには必ず母グマがいると考え、決して近寄らないでください。
- もしクマに出会ってしまったら、あわてずゆっくり後ろにさがり、静かにその場から立ち去りましょう。
- クマの足跡やフンなどを見つけた場合は、その先には進まずに引き返しましょう。
- 生ゴミや残飯、廃棄物などは山や野外に捨てたり、放置しないであげてください。クマをその場所に引き寄せる原因になります。

●クマに関する情報 県の国あきた ツキノワクマ情報 検索

秋田県生活環境部自然保護課



理事会 だより

【第2回定例理事会】

平成29年5月30日開催

議案（抜粋）

■固定資産取得（カントリー等）について

■地域生活支援事業実施規程の一部改正について

報告事項（抜粋）

■農畜産物の生育及び販売状況について

■平成30年度の職員採用について

【6月の主要行事予定】

12日 臨時理事会

26日 第3回定例理事会

28日 第19回通常総代会
（秋田ふるさと村）
臨時理事会

理事会メモ

報告事項第3号の農畜産物の生育及び販売状況について
田植え作業は始期が5月18日頃と平年よりも早く、20・21日に作業が大幅に進みましたが、盛期は24日頃で平年並みとなっています。また、5月15日の降雹により管内でも果樹に被害が見受けられましたが、対策を講じ今後の病虫害防除を徹底することを確認いたしました。

サマーキャンペーン2017のお知らせ



キャンペーン期間

平成29年

6/1(木)
~8/31(木)

【お問い合わせ】
各支店・出張所窓口
または金融企画課
(0182-35-2653)まで

JA秋田ふるさと 職員を募集します！

JA秋田ふるさとでは平成30年4月1日採用予定の職員の募集を行います。詳細は当JAのホームページをご確認ください。

【基幹職(正職員)】

1、採用予定人員

15名程度

(大学・短大・専修学校・高校卒業見込みの者、中途採用の者)

2、職務内容

金融・共済・営農・経済・農機・福祉等

3、応募受付期間

①大学・短大・専修大学・中途採用

平成29年6月30日(金)~平成29年7月14日(金)

②高校

平成29年9月5日(火)~平成29年9月11日(月)

4、応募書類の取得先及び提出先

JA秋田ふるさと総務部人事課及び当組合各支店で提出書類(所定様式)を交付いたします。ホームページからもダウンロードできます。

【URL】<http://www.akita-furusato.or.jp/>

〒013-0036 秋田県横手市駅前6番22号

秋田ふるさと農業協同組合 総務部人事課

【お問い合わせ】

総務部人事課 (0182-35-2638) または各支店まで



ふるさとの民話

水底の姫

●再話／中川文子 ●画／佐々木愉美子

昔むがし、山内土淵村の「鶴が池」さ、鶴間姫っていう美しい姫が住んでんだ。蒼い水底で魚と戯れながら、くる日もくる日も機織ってるな。姫の織る布は魚の鱗みでやえ透ぎ通って、日の光を浴びれば七色に煌めく。織り上げだ布は、三岡に住む「らんば山王」さ捧げるな。鶴間姫は、機織りの合間に池の岸辺の青草さ横になって、日の光を浴びながら疲れを癒やしてる。白い肌は弾けるように輝いで、そと奏でる歌声は、空を飛び交う鳥や地を這う虫も喜ばせるほどだった。

鶴が池がらちよこつと離れた黒沼さ、太郎っていう凛々しい若者がえだけ。何処からが聞げでくる美しい歌声さ誘われて、鶴が池の畔さやってきた。

ど。岸辺さ横たわってる鶴間姫ど。見つけた時、太郎の胸は高鳴った。振り向いた鶴間姫は、己れが何えも纏ってねやごどさ気付いて身を隠そうとした。身置き場のねやくりや恥ずがしがった。凍々しい太郎の姿さ引き込まれてしまった。それがら二人は、蒼い水底さ沈んで結ばれた。二人は、寸暇も惜しんで戯れるようになった。

鶴間姫が機織りさねやぐな。たなで、「らんば山王」は怒り狂ってしまった。大地を揺るがして激しい山鳴りが聞げきた。雷が走って、太郎ど黒沼の底の岩さ縛り付けでしまった。それがら、鶴が池の水、全部飲み干してしまった。鶴間姫は、昼間は黒髪で体を覆って動がねやがった。



夜中になればか細い手で、太郎が住んでる黒沼目指して沼の底を掘り進んで。毎日毎日掘り続けだ。黒沼さ迫り着げねやでだ。見かねだ沼の貝んこも魚っこも鳥っこも加勢した。姫が黒沼の水音が聞ける場所まで迫り着いで最後の掘り終えだ。ガラガラど岩が崩れ落ちた。とつさに姫は、黒沼さ飛び込んだ。藤ツルで岩さ縛られでた太郎ど抱き締めで涙っこ流した。藤ツルはほどげで、喜びの涙は二つの池を満した。それがら二人は池の底を潜って二つの池を行き交いながら、幸せに暮らした。とつぴんぱらりのふう

JAの概況

Situation

組合員数	17,590人
（正組合員）	13,002人
（准組合員）	4,588人
貯金	1018億2394万円
貸付金	318億7453万円
購買品供給高	6億7160万円
販売品販売高	219億8270万円
共済保有高(保障)	4296億9798万円
(2017年4月末現在)	

「ふるさとの民話」を毎月楽しみにしている読者の一人です。今月は山内地域に実在する鶴が池や黒沼が舞台です。黒沼には「地福長者」の伝説や「千ばつの年でも水位が下がらない」という言い伝えなど様々あるようです。その地に伝わる民話や伝承を知って実際に巡る、というのも楽しいかもしれませんね！

実はひっそりと更新を続けているものがあります。それは「広報担当のブログ」。JA秋田ふるさとのホームページの中に、あるブログコーナーです。季節の写真を載せたり料理を作ったりと本誌では載せきれない情報が盛りだくさん(?)です。2日に1回更新を目標に頑張っております。興味のある方は是非ご覧ください。

(み)

(き)

JA通信 ふるさと

発行／秋田ふるさと農業協同組合
企画・編集／総務課 〒013-0036秋田県横手市駅前町6番22号
印刷／(株)全農ビジネスサポート秋田支店

TEL／0182-35-2630
FAX／0182-35-2701
E-mail／fu.staff@akita-furusato.or.jp

秋田ふるさと

検索

検索サイトでJAのホームページに簡単アクセス！

